



奉仕しよう
みんなの人生を
豊かにするために

Rotary 国際ロータリー第2670地区
高松西ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF TAKAMATSU WEST



2022年10月1日

Vol. 7

創 立 1969年4月14日
認 認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発 行 I T・広報委員会

Weekly Report 2021-2022

会長：低田陽介 / 幹事：江島繁夫 / 会長エレクト：遠藤直樹 / 副幹事：鈴木雅博 / S.A.A：磯崎裕騎

今週のプログラム	第2493回	10月1日
12:30～ 内容未定		
担当者	プログラム委員会	例会場 天勝

先週のプログラム	第2492回	8月20日
ガバナー公式訪問		
担当者	会長・幹事・各委員長	例会場 JRクレメントホテル高松



低田会長点鐘



東ガバナー講話



ガバナーとバナー交換



野口・加藤会員と

低田会長挨拶

・ こんにちは。本日は、先程ご紹介させて頂きましたが、ガバナーの東様、ガバナー補佐の堀様、地区代表副幹事の田辺様、星野様にお越し頂きました。ありがとうございます。
このような状況でございますので、短縮例会ということで、時間も短く、食事も終わってからお弁当という形になりますが、本当に悩んだ末、本日開催させて頂きました。
つい先程までガバナーと和気あいあいとお話させて頂きました。ガバナーの思い出として木村さんの名前が100回ぐらい出てきたのですが、地区大会や木村さんがガバナーをされていた時の思い出話や、今、みなさんが着ているグリーンジャケットがいいねとお褒めの言葉を頂きました。あと、活動計画書の内容も沢山褒めて頂きました。
それはまた後ほどお話を頂けたらと思っておりますので本日は楽しみにしております。どうぞよろしくお願い致します。

江島幹事報告

・ 例会後、理事会がありますので理事の方、よろしくお願い致します。

ビジター

ガバナー 東 邦彦 様 ガバナー補佐 堀 祥二 様
地区大会実行委員長・公式訪問担当幹事 田辺 豊 様
地区副代表幹事 星野 努 様


スナップ



10月1日 今日は何の日	今日生まれの有名人		
コーヒーの日/ネクタイの日/衣替え	1977年	滝川クリステル	1921年 江戸屋猫八
1948年 110番設置	1943年	うつみ宮土里	1907年 服部良一
1964年 東海道新幹線開業	1922年	別所毅彦	1847年 中江兆民
誕生花	紅い菊、花言葉は“深い愛”		
誕生石	オパール、宝石言葉は“幸福を得る”		

我々の生業

我々の生業さまざまなかれど
集いて凶る心は一つ
求るところは平和親睦
力るところは向上奉仕
おおロータリアン 我等の集い



例会場 JRホテルクレメント高松
高松市浜ノ町1番1号
TEL(087)811-1111

例会日:毎週金曜日 12:30～13:30 (第1例会のみ 18:30～19:30)
今週の週報はこちらで見ることが出来ます。(Adobeのアクロバットリーダーが必要です)
<http://www.88club.com/rc/2021pdf/10-01.pdf>

事務所
高松市西の丸町10-15
高松ホテル旅館料理協同組合内
TEL(087)851-2661 FAX 851-2662

メイクアップ

8月10日	高松東RC	岡田 野田 田中 辻
8月10日	高松中央RC	泉谷 生家 藤田
8月12日	高松RC	近藤
8月12日	高松グリーンRC	藤田
8月16日	高松北RC	岡田 辻
8月17日	高松東RC	近藤
8月17日	高松中央RC	植田
8月18日	2720 Japan O.K. ロータリーEクラブ	森
8月19日	高松RC	磯崎 岩本 堀井

出席報告

出席委員長：石川洋介

会員数 /	51名	出席規準数 /	50名
出席者数 /	25名	欠席者数 /	25名
出席率 /	50.00%	ビジター /	4名
最終出席率 /	7月30日	51.02%	→ 65.31%

ニコニコBOX

東ガバナー様より。	東ガバナー
東ガバナー、ようこそお越しいただきました。ありがとうございます。	低田
東ガバナー、大歓迎です。	島谷
直島の黄色いかぼちゃも流されるくらいの風の中、がんばりました。ゴルフ同好会コンペ優勝しました。	遠藤
早退	1件
合計 5 件	
本日の合計	20,500円
2021-2022年度累計	321,000円

2021-2022年度 理事会報告

日時	2021年8月20日(金)
場所	JRクレメントホテル高松・例会上
出席者	低田、辻、遠藤、島谷、田中、有友、青木、須田、江島、鈴木(オブザーバー)
議題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名誉会員に週報等レターパックにて送付する件 承認 ・ 熱海義援金の件 承認 ・ スリランカRCと友好縁組の件 → 会員の方全体の意見も聞きながら進めていく ・ 9月3日、10日休会の件 承認

9月誕生日の樹

4日	藤田 俊和 会員	ハナイカダ(花筏)
7日	池上 晴英 会員	ナツメ(夏芽)
12日	村上 義憲 会員	シンジュ(神樹)
20日	横山 明世 会員	オニグルミ(鬼胡桃)
記念樹	— 記念日と誕生日365日の+1の樹 — 財団法人経済調査会発行より	



ガバナー講話



2021-2022年度 ガバナー 東 邦彦

みなさん、こんにちは。マスク無しでお話させて頂きたいので、こちらからお話させて頂きます。

皆様のグリーンのブレザーを拝見して、特に会長幹事会でグリーンのブレザーを見た時にハッと思い出しまして、初めてこのクラブでガバナー補佐の教育をして頂きました。その時の木村さんも同じグリーンのブレザーを着ておりました。あと、泉谷さんや、野口さんも着ておりました。そしてこのフロアの床の模様も当時と似ているような感じがします。何年か前のガバナー補佐でございまして、いずれにしても、このクラブにお邪魔するのも非常に楽しみにしておりました。

私は、木村ガバナーにお世話になりまして、初めて第三ゾーンというのに連れて行ってもらいました。私は2670地区しか知らなかったのですが、たまたま私は増強委員長でしたので、第三ゾーンの会合に連れていかれました。野口さんがそこに出ていらっやいまして、グループディスカッションのリーダーをなさっておりました。その時に、野口さんって偉いんだと驚きまして、野口さんが最後の報告をするまで聞いておりました。私のグループと野口さんのグループは違いましたが、本当に高松西はすごいクラブだと思っております。そういう風なカルチャーショックといいますか、そういうのが私の中にぐっとありましてそれが全部グリーンのブレザーの中にずっと入りこんでいます。すごい皆さんかっこいいと思います。とても似合っていると思います。

今、私が着ているのはガバナージャケットでございまして、これが今年のRIの色でございます。やはりグリーンにはだいたい負けているような気がします。本当にお世話になったクラブであります。未だに野口さんは当時のガバナー補佐をまとめて頂きまして年に1度、去年と今年はこのような状況ですではありませんでしたが、懇談会を開いて頂いております。その為、去年の代表幹事でありました高松東の坂井君や、今の年度でガバナー補佐を2回目やって下さっている佐々木君は、やはり木村さんの教え子であります。それに加えて、財団の宇野さん、この方々はずっと代表幹事でありました野口さんに未だに教育されているような感じがいたしまして、特に木村さん、野口さん、やはりそのような方たちのクラブでございます。本当に色々お世話になったクラブであります。その中でこのようなスピーチをするのはおこがましいですが、仕事でございますので申し上げます。

まず、RIの報告を少しさせて頂きます。会長幹事会の中でも申し上げましたが、ただいま長期交換、短期交換は去年と私の年度は休みになっております。実はまたこれから再開されると思いますが、その時には新しい組織であり保険機構ですが、国際ロータリー日本青少年交換多地区機構というのがあります。頭文字を取りましてライジェムと申します。このライジェムの許可を取らないと短期も長期も交換計画が出来ませんのでご注意を願いたいと思います。なお、姉妹クラブと

次週のプログラム

第 2494 回

10月 8 日

未定

担当者 プログラム委員会

例会場 JRクレメントホテル高松

の交換も特に注意して頂きまして、長期も短期も34の地区で交換事業は花形でございます。その花形が長期も短期も休んでおりますので、少し寂しい年度でございます。

それから、それをもう少し拡大致しまして、東日本大震災がございました。その時からRIは地震や自然災害についての青少年の学生の保護が非常にナーバスになっておりまして、危機管理委員会というのが出来ております。活動計画の中で危機管理委員会というのがございますのでそれを見て頂きたいのですが、関心いたしましたのは、活動計画の中で、危機管理委員会というのが、このクラブでは出来上がっておりまして、この委員会は非常に注目されている委員会でございます。今まで米山委員会、こちらのクラブが非常に沢山寄付をなさっております。米山奨学会、この委員会のようにちゃんと出来上がってまだ委員会ではございませんので実はこの私の年度で、2670の危機管理委員会の原案が出ております。とりあえず、こちらの会長幹事にも含めて会長幹事にチェックを受けながら来年の施工になると思います。そのような青少年のサポートからもう1つハラスメントまで入れた、特に例会中のハラスメントや、ロータリアンが指導するセミナー、そういう時におけるハラスメント、これが絶対無いように、こういう風なことがきつく言われております。これが今年度の特徴でございます。危機委員会はもっともっと形を変えていくと思います。例えばライジウムの中に危機管理委員会は入ると思います。ちゃんとしたものはもうすぐ出来上がると思いますが、まず自然災害とこのパンデミックなコロナ、こういうものから青少年を守る委員会がこの危機管理委員会でございます。そういう方向性にあるということをご承知ください。

それからあともう一つ、私の年度で変わりましたのは、RIの重点項目というのは今まで6つございました。識字率や水の問題、それから母子の健康の問題等がございましたが、もう一つ、7番目が出来上がりまして、それが環境保全の問題です。地球をサポートするテーマのシンボルマークがございました。地球をサポートする、その行動そのものが環境保全でございます。地区補助金であるとかグローバル補助金とかそのようなものが非常に有効でございますので、事業の中でお考え頂ければと思います。それと、私の年度はどうしてもコロナに左右されます。去年はコロナによって、例会がなかなか開けませんでした。どちらのクラブもそうだったように存じております。その中で我々のロータリアンは何をしてきたか、今はそういう風な時期ではないかと思っております。

私たちロータリアンはこの例会で培った親睦というものを右手に持ちまして、左手には奉仕事業がございまして。奉仕というには非常に難しいのですが、今の学生さんにサービスということをお聞きすると社会貢献と言うみたいです。それはもちろん良いのですが、親睦と奉仕でもって100年もちました。こういう風なことをやっております。

なお、奉仕の心を自分の職業の中に入れてまして、4つのテストだとか、奉仕の精神だとか、そのような哲学を持っております。あと多様性というのはよく言われますが、私たちロータリアンも多様性の時代になりました。私はクラブに入って38年になりますが、昔は、男性だけでしたが今はジェンダレスでございますので女性も結構でございます。人種も結構でございます。もう一つ文化の差も多様性がある結構だと思っております。そういうロータリアンが進んでいくのは地域社会だと思っております。こちらのクラブで申し上げるならば、高松市ではないかと思っております。広く言うと香川県ということでございます。いずれにしても地域社会が私たちロータリアンの生きる道でございます。

そういうことをしてきた私たちが一番基本にしていた例会が

出来ないのは非常に我々ロータリアンにとっては痛手でございます。私の年度ではこういう楽しい例会をもう一度意識しないおす時期ではないかと思っております。いずれにしてもこれからのロータリーはもっと女性を入れて頂きたい、これが私の最後のお願いでございます。例会を楽しくして頂きたいのと、女性をクラブに入れて頂きたい、そういうことでございます。こちらのクラブには女性の会員様もいらっしやいましてもっともっと逆に言えば余力のあるクラブだと思います。そういう風にながら新しい人が1人入ってくると、新しい風が吹きます。

そういう風なクラブの活性化の為には増強はどうしても必要になります。そういう意味で9月18日には一応、四万十市におけまして増強と研修リーダーのセミナーを行いたいと思っております。このコロナの中でこれ以上、まん延してしまうと出来なくなるかもしれませんが、私のテーマは去年出来なかった、増強と研修リーダーのセミナー、このような1つのセミナーを通じながら、各クラブの増強を諮って頂きたいと思っております。今でも十分活性化していると思っておりますが、出来れば女性も含めて頂いてもっとクラブの活性化を取り戻して頂きたいと思っております。

それと、クラブ活動計画書の中に非常に長期計画が入っている、これはすごく良いことだと思います。2670は長期計画をこのクラブ計画書の中に入れていたクラブは非常に少ないです。このクラブの活動計画書を参考にしながら、各クラブに回っていきたく思います。やはり長期計画があつての1年と長期計画がない1年では結果的には同じかもしれませんが、会員のやる気や活性化には非常に起用すると思っております。こちらのクラブはスマートなクラブだと思います。これからは増強の方、一つよろしくお願い致します。以上でございます。ありがとうございます。

実はこの点鐘して頂いた鐘の説明をするのをわすれておりましたので追加させていただきます。こちらの鐘はただいま会長に点鐘して頂きましたが、東京ロータリーがちょうど100年になりました。日本にロータリーが入って100年の鐘になります。東京ロータリーが記念事業として、全国34の地区に1個ずつ鐘を寄贈いたしました。こちらが2670地区の鐘でございます。ちょうど100年のロータリーの味を味わって頂ければと思ひまして、この鐘を持ってずっと回っております。よろしくお願い致します。ありがとうございました。

ロータリー特別月間（9月）

基本的教育と識字率の向上月間

(Basic Education and Literacy Month)

2014年10月RI理事会は9月を重点分野：「基本的教育と識字率の向上月間」とした。地域社会で基本的教育を普及し、識字能力を高めるためのプログラムを支援し、地域社会の参加を促進、成人識字率の向上、教育における男女格差を減らすための活動、基本的教育と識字率向上に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人のための奨学金支援を強調する月間である。

ロータリーの友月間

(Rotary-no-tomo Month)

雑誌月間の廃止に伴い2015-16年度より日本独自に、9月を「ロータリーの友月間」とした。ロータリー地域雑誌と呼ばれる「友」誌は、全世界に31誌ある地域雑誌でその目的は地域の特徴ある活動をその地域のロータリアンが共有することである。また、『The Rotarian』の中からいくつかの記事をすべての地域雑誌にも掲載しているのは、全世界のロータリアンが共通して知っておかなければならないためである。会員の義務でもある雑誌の購読や記事紹介を会員に強調する月間でもある。